

図書館だより 2月号

令和6年2月1日発行
 王滝村教育委員会
 TEL:48-2134

学校図書館と村民図書館を村民に開放しています。コミュニティルームからお入り下さい。開館日時：平日(開校日)午前8時～午後4時

○新刊本の紹介 大人にも子どもにもおすすめ

「きみは、ほんとうは、いい子なんだよ」と言い続けて下さった小林校長先生。「小林先生のこの言葉は、私の人生を決めてくださったかもしれない言葉です。」と黒柳さんがあとがきに書いています。人との出会い、ご縁を大切にしたいと思います。



原案・黒柳徹子

「映画窓ぎわのトットちゃんストーリーブック」
 講談社

挿絵は松野春野さん(いわさきちひろさんの孫)です。ちひろさんは「窓ぎわのトットちゃん」の挿絵を描いています。黒柳徹子さんの本が、新たに時代を超えて、素敵な絵本になって届きました。

原案・黒柳徹子



「トットちゃんの15つぶのだいたず」
 講談社

あかちゃんから大人まで思わず笑顔に(^_^)

真ん中に穴が開いた「しかけ絵本」です。単純にただ、ただ楽しんで下さい。笑って下さい。



「パン パパパネル」

○雑誌 (定期購読)



「天然生活」
 小さなこだわり
 小さな暮らし

「MOE」
 絵本のある暮らし
 展覧会・新刊情報等

○リクエスト本

日本人初のエベレスト単独無酸素登頂に挑む登山家が贈る、人間の本質に迫る感動作。苦しければくるしいほど出る言葉があるそれは「ありがとう」と口にするることによって一歩が出る。(本文より引用)
 「ありがとう」は、困難な時代を乗り越える力がある言葉かもしれません。忘れてはいけない大事な言葉ですね。



「一歩を越える勇気」
 作：栗城史多
 サンマーク文庫

BSで放送中の「あの本読みました?」は鈴木保奈美さんと書店員、作家が対談して本の魅力を語る番組です。
 一月のゲストは風良ゆうさんでした。二〇二三年本屋大賞受賞作「汝、星のごとく」の続編、「星を編む」を紹介していました。生きることの自由さと不自由さを描いた愛の物語です。



「星を編む」
 なぎら
 作：風良ゆう
 講談社

二月の読書会は、八日(木)午後一時半からです。
ご参加は短時間でも大丈夫です。お気軽にお立ち
寄りください。



ある日の図書館の風景。
このあと本を借りていただきました。



(きりとりせん)

リクエストカード

申込者氏名

*わかる範囲でご記入ください。

書名

著者名

出版社

※雑誌もリクエストできます！！

☆多コピーしてご利用下さい。